

街路事業の再評価概要書

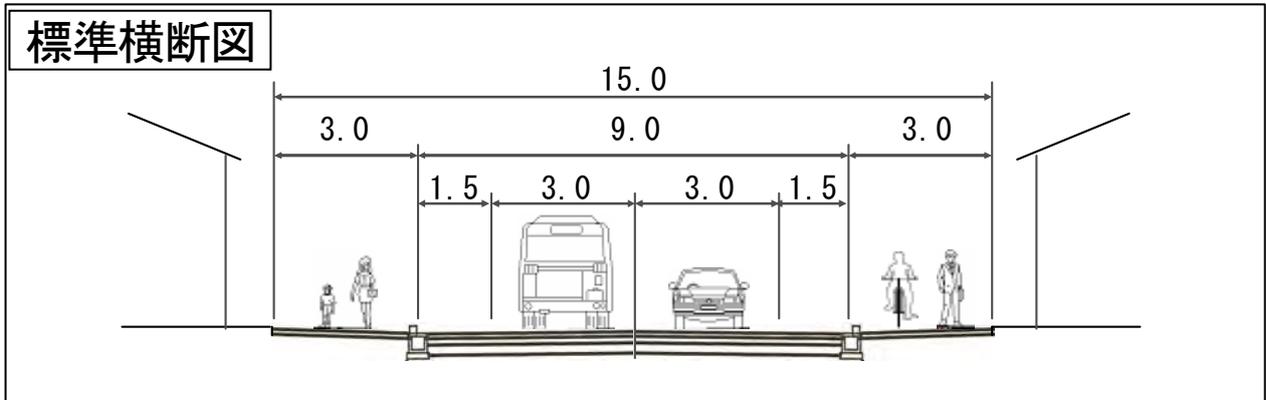
街路事業の再評価概要書			番 号	116			
			事業主体	栃 木 県			
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課			
路線・河川名	足利佐野都市計画道路 3・5・102号 家富町堀込線		事業箇所名	あしかがしほりごめちよう 足利市堀込町			
事業区間	あしかがしほりごめちよう 足利市堀込町		事業延長	760m			
H14年度事業化	S32年度都市計画決定 (H13年度変更)		H14年度用地着手	H16年度工事着手			
事業期間	H14年度～H25年度		基準年次：【平成23年度末時点】	進捗率			
[うち用地補償費]	[13.5億円]				[うち用地補償費]	[13.0億円]	[96%]
全体事業費	18.0億円				既投資事業費	17.1億円	95%
事業概要							
<p>足利佐野都市計画道路3・5・102号家富町堀込線は、足利市の中心部から渡良瀬川を渡河し、国道50号までを結ぶ、足利市中心市街地の南北軸として、都市活動を支え都市の骨格をなす重要な都市内幹線道路である。</p> <p>本整備区間は、道路幅員が狭隘であり、右折レーンの不足などにより、朝夕を中心に交通渋滞が発生している。</p> <p>また、周辺には南小学校、山辺中学校が立地しているにも関わらず、歩道は片側のみの整備となっており、狭隘であることから、通勤通学の自転車・歩行者が危険な状況となっている。</p> <p>以上のことから、良好な市街地の形成を促進するため、現道の拡幅及び両側に歩道を整備することにより、交通の円滑化を図るとともに、安全で快適な自転車・歩行者空間を確保する。</p>							
事業を巡る社会経済情勢等の変化							
特に無し							
事業の投資効果							
<p>1 費用対効果分析結果 【総便益 (B)】 【総費用 (C)】</p> <p>(1) 事業全体 B/C= 1.2 24.1億円 19.7億円</p> <p>(2) 残事業 B/C= 32.4 22.7億円 0.7億円</p> <p>2 事業の整備効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞緩和と交通の円滑化 ・自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保 ・足利中心部から国道50号までの南北軸の連絡強化 							
事業の進捗状況等							
<p>1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度までに、滝ノ宮橋交差点から約340mまでの区間を供用した。 ・残る区間(約420m)については、用地の取得及び工事を推進している。 <p>2 今後の事業進捗の見込み</p> <p>今後は残る区間の用地の取得及び工事を推進し、平成25年度を目標に全線供用を図る。</p>							
コスト縮減等							
<p>1 コスト縮減方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを低減 ・当該工区の建設発生土を他工事に再利用しコストを低減 ・水道管埋設工事との同時施工による、掘り返し工事の削減 <p>2 代替案立案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の諸手続きを経て、ルート、車線数及び幅員を決定し、事業を実施している。また、大部分の用地を既に取得していることから、代替案立案は困難である。 							
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。					

事業箇所（位置図・概要図）

位置図



標準横断図



概要図





写真 1 : 整備前の渋滞状況 (滝ノ宮橋交差点付近)



写真 2 : 現道の道路状況 (堀込町地内)



写真 3 : 部分供用状況 (堀込町地内)